



田尻町議会だより

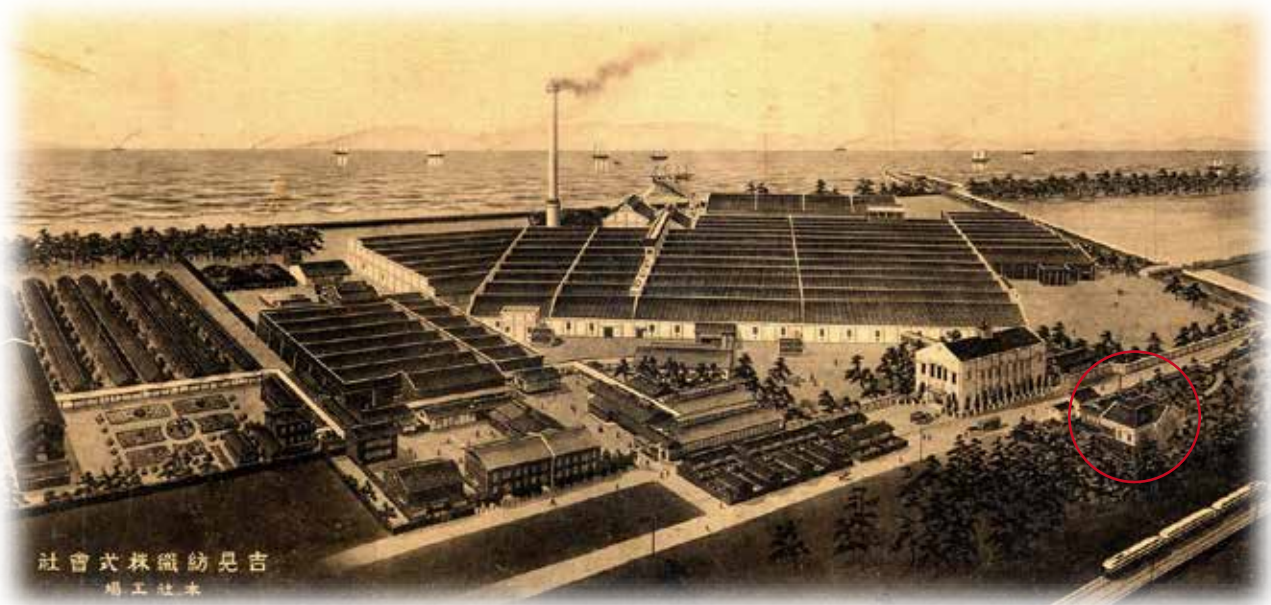
たじりの風

8609人

Vol.125

令和2(2020)年
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



吉見紡織株式会社
工場跡地

大正時代の田尻歴史館周辺の様子。○で囲んだ建物が、田尻歴史館です。



田尻歴史館は現在、耐震保補強等保存修理工事中です。



主な内容

- ★ 一般質問（9月議会）…………… 2 頁
- ★ 審議結果（9月議会）…………… 6 頁
- ★ 委員会報告（9月議会）…………… 7 頁
- ★ 田尻歴史館耐震等工事視察報告 …… 9 頁
- ★ 災害対策特別委員会報告 …… 10 頁
- ★ 12月議会の日程 …… 10 頁

9月議会 一般質問

- 坂口 実 議員 1. 新たなコロナ独自支援対策は
2. 保幼小中一貫教育について
- 原 明美 議員 1. シルバー人材センターについて
2. 防災対策
- 東 小夜子 議員 1. 奨学金返還支援について
2. プラスチック製品の回収方法の見直しは
3. ハザードマップの周知について
- 吉開 育子 議員 1. 介護保険事業の今年度の状況について
2. 来年度の国民健康保険料について
3. 少人数学級について
- 小川 雄司 議員 1. PCR検査体制の拡充を
2. PCR検査に対する補助を
- 金田 裕治 議員 1. 住民が直接要望できるようなアプリの構築を
- 射場 隆裕 議員 1. 田尻町の知名度について
2. 田尻町、今後の将来の都市構想について
- 中川 達夫 議員 1. 今後起こりうる関空税減収の対応について問う

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)
・閲覧方法・田尻町のホームページ
www.town.tajiri.osaka.jp/ ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



坂口 実 議員

問 新たなコロナ独自支援対策は

答 国・府の動向により検討する

問 町立の幼保・小中学校に関わる教職員、保健師等の職員は、ウイルス検査を実施すべきではないか。大阪府は、不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査を1人1回限り2万円を助成中。本町は付添人である親族も里帰り出産を含め、同額の検査助成が必要ではないか。クラスターの発生等、より深刻な危機的な状況となった場合を想定して、専門家の意見を聞くなど、コロナ禍での危機管理はあるのか。

たじりっち振興券の利用状況は。新たなコロナ独自支援対策の必要性を問う。

答 **健康課長** 保健所の指導を仰ぎながら対応していく。PCR検査は1日で結果が出ると聞いており、自宅待機で各自予防を願う。症状がなければウイルス検査は必要ないと考える。

答 **産業振興課長** 振興券総発行額9232万円で9月10日時点31.9%使用済み。

国・府の動向により新支援策を検討する。

問 保幼小中一貫教育は

答 新施設建設は、一貫教育の検討の場

問 保幼小中一貫教育の推進は、本町最上位計画の総合計画に、2020年からの第5次戦略プロジェクトにある最重要施策である認識を問う。施策プロセスの見える化が公表されていないため、保幼小中一貫教育の推進に対する、教育方針・教育目標・教育理念を明確に示すべきものではないか。

新施設建設自体が、場所の固定化を招くのではないのか。狭小運動場を小中が共用使用を将来に渡り継続するのか。短期的施策にあるPTA・教職員・住民説明会を先行して実施するべきではないか。

答 **教育次長** 第5次戦略プロジェクトの通りであり、今年度教育大綱を見直し教育理念等を明確にし、小中一貫教育推進施設は固定化ではなく、小中で共用し小中一貫教育実践検討の場であり、ICT先端授業の実施やPTA関係行事や地域住民利用の場である。



原 明美 議員

問 シルバー人材センターのあり方は

答 拠点場所については今後検討する

問 今後ますます高齢者が増えていくと思われる。この人たちの生きがいの場として発展させていくために、拠点となる場所が必要であると思うが、どのように考えているか。

答 福祉課長 社会状況の変化により、定年退職、老齢基礎年金の満額支給が65歳になったことで、シルバー人材センターも60歳代の登録が少なく、シルバー人材センター自体が高齢化になっている。今後ますます高齢化が進む中で、意欲のある高齢者がその経験と能力を十分に発揮し、仕事を通じて地域社会に貢献していただく場として、シルバー人材に登録をしてほしい。拠点の場としては事務局として社会福祉センターで定例会議を行っており、そこで協議していきたい。



東 小夜子 議員

問 奨学金返還支援制度を導入しては

答 ぜひ考えていく

問 公明党は若者との懇談会ユース・トーク・ミーティングを実施。奨学金の返還が大きな問題になっている。田尻町でも定住促進を図るため奨学金を借り入れた人に対し、補助金を交付する奨学金返還支援制度を導入しては。

答 町長 勉強心のある学生を応援するため、田尻町に住むという条件は必要だと思うが、ぜひ考えていく。他市事例を参考に研究していく。

問 防災対策全般について問う

答 順次地域防災計画を更新していく

問 田尻町にとって安全な避難所はどこか。ハザードマップの信頼性は。

答 危機管理課長 本町における最大被害想定は南海トラフ地震で、地域防災計画に基づきハザードマップや避難所の整備を進めてきた。一時避難場所は駅上広場、指定避難所はふれ愛センターと小学校である。近年、毎年のように起こっている自然災害に伴い、順次地域防災計画を更新し、ハザードマップをより住民に周知させていく。

問 たじりエンゼルの移転より、なぜ小中一貫教育推進施設を優先させるのか。

答 教育次長 学習環境の充実を図りつつ、ICTの活用、小中一貫教育の検討の場として、また地域の方が利用できる施設として、小中一貫教育推進施設の推進を進めたい。エンゼル単体の移転は考えていない。

問 プラスチック製品の回収方法の見直しは

答 国や府の制度がわかり次第見直しする

問 プラスチックごみの削減に向け政府の案がとりまとめられ、家庭ごみとして出されるプラスチック製品の回収方法が見直しされる。

7月からレジ袋有料化もスタートしている。田尻町でも考えていく時では。

答 生活環境課長 国や府の制度がわかり次第迅速に対応する。

問 たじりっちマークの入ったエコバックを配布するべきでは。

答 生活環境課長 プラスチックごみの減量のため、たじりっちマークのエコバックを配布する。



吉開 育子 議員

問 20人程度の少人数学級実現を

答 来年度、小学校で35人学級を実施する

問 日本共産党は6月2日に、1クラス20人程度の少人数学級を実現するため、教員を10万人増やすなど教育条件の抜本的整備を求める緊急提言を発表。国は新型コロナウイルス感染予防のために「3密」を避けるよう、身体的距離を2m、少なくとも1mの間隔をとるよう推奨しており、現在の教室では20人でその距離が取れる。全国知事会・全国市長会、全国町村会の地方3団体が「現在の小中学校の40人学級では新型コロナウイルスの感染予防ができない」と、文科大臣に少人数学級の実現を求める緊急提言を提出しており、文科省も少人数学級実現に意欲的になっている。田尻町で20人程度の少人数学級実現を求める。

答 **教育次長** 本町としては、来年度から小学校で35人学級を実施したい。20人程度の少人数学級で

は、教室の不足や教員の確保など実施するにはハードルが非常に高いものであり、35人が一番ベストだと考える。実質、30人以下という形にもなる。

問 第8期介護保険料を上げないよう求める

答 減額になる要因がない状況である

問 コロナ禍のもと、介護保険事業の各種サービス受給者は減少していると思われる。どのような状況になっているのか。また、来年度からの第8期介護保険料を検討するにあたり、今の保険料より上げないよう求める。

答 **福祉課長** 今年度はコロナ前と変化なく、短期入所や自宅での介護、ショートステイ、自宅の改修などのサービスが増加し、第8期保険料が減額になる要因がない状況である。外出自粛で身体機能低下や、人との交流減少による認知機能低下など、今後いろんなところでコロナの影響が出てくると思われる。そういった方たちを少しでも減らすためにしっかりと介護予防に取り組む。



小川 雄司 議員

問 コロナ感染発生時は施設内すべての人の検査を

答 府の方針に基づき検査を行う

問 大阪府の方針は、クラスターが発生した施設等の全職員を対象に一斉・定期的な検査実施を検討するとなっている。田尻町立保育所・幼稚園、小中学校、町役場、ふれ愛センター、町内にある介護施設、医療機関で新型コロナウイルス感染者が発生した場合、当該施設のすべての職員、教員、保育士、子ども等にPCR等検査を行うことを求める。

答 **健康課長** 府の本部会議の方針に基づく保健所の指導を受けてPCR検査を行うことになる。



問 介護施設職員全員にPCR検査を

答 感染予防対策を徹底する

問 田尻町内の4つの介護事業所の職員合計約208名に対して、感染無症状の人を発見するため、町が全額補助してPCR検査を実施して未然にクラスターの発生を予防する積極策を講じていただきたい。検査費用は208人×3万円を3回実施で1872万円であり、第3次感染拡大防止予算として予算化を求める。

答 **健康課長** 検査後に感染することも考えられる。手洗いの徹底など感染予防策を徹底していただきたい。





金田 裕治 議員

問 住民が直接要望できるアプリの構築を

答 電話で場所の特定が可能なので、考えていない

問 住民が道路の陥没や側溝・水路の通水阻害などの改善箇所の要望をしやすくするために、スマホから要望できるアプリを構築しては。

答 企画人権課長 田尻町は町域が狭く、電話で場所の特定がほぼできるため、現在のところアプリの構築は考えていない。

問 現在、町の清掃職員は公共施設のごみ収集のみであり、午前中で終了している。午後から上記のような改善箇所の業務を行わせてはどうか。

答 生活環境課長 現在は午後から除草や側溝の清掃等を行っている。

問 夏場は草刈りする場所も多いと思うが、冬場はどうか。

答 生活環境課長 カーブミラーの清掃等を行っている。

問 改善要望だけでなく、「田尻の美しい景色」などプラスの情報を受け付けるシステムを作っては。

答 企画人権課長 現在のホームページのお問い合わせフォームは画像等が送れないので、今後検討していく。



射場 隆裕 議員

問 田尻町の知名度をあげるには

答 様々な施策を実施し、充実に努める

問 知名度をあげるために、ふるさと納税の充実化、マイナポイントの独自付加など検討しているのか。

答 企画人権課長 関空内でのラッピングバス運行や各種メディアへの積極的な対応などで地域セールスに取り組んでいる。この取組を検証し、より効果的になるよう努める。

ふるさと納税は昨年度から、厳格な基準が設けられ、本町で適応できる返礼品に限りがあるが、可能な限り充実に努める。マイナポイントの独自付加については、検討していないが、町内消費につながるような、地域通貨などについて費用対効果を研究していきたい。

問 将来構想について問う

答 地域に愛される観光振興策を考えたい

問 観光スポットを新しく作るなどして、田尻町を盛り上げていくための構想はあるのか。

答 産業振興課長 漁港を中心とした日曜朝市や漁業体験など実施し、賑わいづくりを行っている。コロナ禍の今、斬新な観光スポットの実現は難しいが、民間企業のノウハウや資金を生かすことができ、住民にとって有益な観光資源があれば、連携し誘致を検討していきたい。近隣の旅行者を田尻漁港を中心ににぎわい交流ゾーンに迎え入れられるように努める。



問 関空税減収に伴い住民サービスへの影響は

答 税減収は少ないので影響はない

問 新型コロナにより人々の生活が制限され、また経済的にも打撃を受けている。関空も経常利益が大幅に減少すると見込まれる。一般財源の半分以上を町税が占めている本町の財政にも大きな影響が出てくる。今まで関空の税収で近隣の市町村より住民サービスが充実しているが、今後起こりうる税減収に対する計画、次世代のための未来像を住民に説明する必要があると考える。関西国際空港関連の法人税及び固定資産税の減収に対して町長はどのような施策をとるのか。

答 住民部長 関空からの税収は大半が固定資産税であり、よほどのことがない限り、町に入っていないという事態にはならないと考える。

答 町長 すぐに住民サービスに影響があるわけではない。

今まで通り住民、次世代のための施策を進めていく。



9月議会 審議結果

意見が分かれた議案名		審議結果	仁部順行	金田裕治	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	原明美	射場隆裕	坂口実
オンライン投票の環境整備を求める意見書		否決	×	×	×	×	×	×	議	○	×	○
令和2年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件	修正案	否決	×	×	×	×	×	○	議	○	×	○
	原案	可決	○	○	○	○	○	×	議	×	○	×
令和元年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算認定の件		原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし



9月議会 委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

審査結果、並びに経過報告 (9月7日開催)

- ◎田尻町議会議員及び田尻町長の選挙における選挙運動用自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 供託金の額は、町だといくらか。また、没収点はどれくらいになるのか。

答 供託金は、町長選で50万円、町議選で15万円になる。没収点は、前回の町議選を参考に計算してみると約40票であり、それ未満だと供託金は没収される。

- ◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 講師、指導主事の任用期間は、決まっているのか。

答 講師は、基本1年の任用である。指導主事は、特に定めていない。

問 講師の採用にあたっては、府に頼ることなく、町独自で採用することにしてはどうか。

答 泉南地域での勤務を希望する人が少ない現状の中では、メリットがないと考えている。

- ◎令和2年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件
(3億4,608万9千円の増額) 【全会一致で可決】

問 財政調整基金積立後の基金残高は、いくらになるか。

答 本補正予算計上分も合わせると、約40億円になる。

文教厚生常任委員会

委員長 中川 達夫

審査結果、並びに経過報告 (9月8日開催)

- ◎田尻町手数料条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 通知カードが廃止されると、マイナンバーカードを作っていない方は、再発行してもらえないと困るのでは。

答 通知カードは、引越しをしていなければ、引き続き使用可能である。住民票にマイナンバーを記載できるので、それで確認することも可能である。

- ◎田尻町ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 精神病床へ入院した場合、現行と改正後では、どのように変わることになるのか

答 対象になる範囲が、3年前の改正前、すなわち元に戻るというものである。

- ◎田尻町子ども医療費の助成に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

- ◎田尻町重度障害者の医療費の助成に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 田尻町以外に住んでいた方が田尻町に入ってきた場合、前に住んでいた市町村で対応するというのか。

答 住所地特例は一つ前の住所だが、転院等により住所が二つ三つ変わった場合でも、一番初めである元の市町村で対応するということである。

- ◎令和2年度田尻町一般会計補正予算(第5号)の件
(3億4,608万9千円の増額)

【賛成3、反対1で可決】

問 国へ補助金申請はしたのか。教室利用もあるので、補助対象となるのでは。

答 国への補助金申請はしていない。1階が教育委員会の事務所、2階がフリースペースの複合施設で、直接学校施設でないと考えている。補助金申請をする場合は、来年5月に申請となり、時間的に遅くなる。一刻も早く進めていきたい。

現在、中学校において教室が足りておらず、支援学級や特別教室の空いた時間をやりくりしたり、保健室などで相談を受けている状況なので、カウンセリングルームを少しでも早く確保したい。

反対討論 エンゼル建替の道筋がない中で、小中一貫教育施設を建てる、また、国の補助金申請も行っていないことが納得できない。ギガスクールやカウンセリングについては、現状でも充分できているのではないかと。他にもあるが、4月の1学期から使えるようにするのが本来の姿であると思うので、そのへんも含めて反対である。

賛成討論 小中一貫校の第一歩である。施設を建て、子どもの夢に向かって、皆で協力し合っていきたい。子どもの教育、子育てにはもっとお金をつぎ込むべきだと思っている。

プレハブだが、教育委員会事務局が本庁舎近くの1ヶ所に集まる。今求められている少人数学級を進める上で問題となっている教室の確保が解決でき、また安心して相談を受けられるようになる。教育に税金をかけることは大切だと思う。3億円かかるが、教育の充実につながるので賛成である。

決算特別委員会

委員長 坂口 実

審査結果、並びに経過報告 (9月10日開催)

◎令和元年度田尻町一般会計決算認定の件

【全会一致で可決】

歳入

問 関空関連税収は、町税全体の歳入の80%を占めているが、最終の決算状況はどのようになっているか。

答 関空関連税収は、34億3,314万円。前年度と比較して1億6,500万円少なかった。おもな要因としては、法人町民税の収入減である。

問 町営住宅（高砂住宅、砂山住宅、露の口住宅）の駐車場については、入居者の高齢化もあり空いているところも多くある。それらの対応をどう考えているか。

答 空いている駐車場については、入居者への来客が使用することも認めており、また入居者の申請があれば一時的貸出も行っている。

歳出

総務費

問 交通安全対策工事請負費135万円の工事内容は。

答 町道南りんくう吉見線ほかの道路反射鏡（カーブミラー）の設置と、町道高浜線の区画線（ライン）設置工事である。住民の要望に基づき危ないところに設置した。

問 コミュニティーバスについての町民アンケートで、「バスの運行本数やバス停を増やしてほしい」という意見があった。また高齢者から、シルバーカーなのでバスに乗ることができないという声も聞いた。これらについてどう対応するのか。

答 運行本数やバス停を増やすことはすぐには難しい。一定期間走らせてみて、どうすべきか今後検討する。シルバーカーについては、現在もバスの運転手が乗り降りを介助しており、乗っていただくことができる。

問 高齢者などは、バス停から医療機関まで遠く、歩くのがたいへんと聞く。やはり大きなバスより小回りの利く送迎車やタクシーの補助も必要では。

答 バスは車体も大きく通れる道が限られているので、バスだけですべての住民ニーズに応えるのは難しいと認識している。高齢者などへの対応については、福祉部門でアンケート等を行って、今後どう施策を展開していくか吟味していく。

民生費

問 介護予防、介護支援ポイントの利用実績は。また、町独自の制度として注目されているが、より使

いやすい制度にするため、昨年度から工夫された点はあるか？

答 実績としては、介護予防、介護支援あわせて271名の利用があった。ポイントとしては、介護予防ポイントが68万4,700ポイント、介護支援ポイントが9万3,700ポイントであり、人数、ポイント数とも昨年度より増えている。また、コロナ禍でのポイントとして、重度の方も利用しやすいよう、家でハミガキすることでポイントがプラスとなる項目を増やす等、工夫を行った。

消防費

問 平成30年の台風21号被害による住宅改修支援について、何件の申請があったか。またすべて改修は終了しているか。

答 752件の仮申請があった。うち、令和元年度末時点で95件が本申請せずに残っていたが、申請期間を半年延長し、現在残りは19件となった。最終的に期限までに本申請が間に合わない方がいるかもしれないが、期限までの残り期間、1件1件確認を行っていく。

教育費

問 多目的グラウンド施設改修工事の内容は。ドーム、グラウンド両方の工事なのか。また、照明のLED化の検討は。

答 ドーム、グラウンド両方の工事を行った。おもな内容は、平成30年の台風21号で被害のあったグラウンドのネット復旧と、土の改修（入れ替え）である。照明については、ドーム、グラウンドともオープンしてから20年経過しており、施設全体の課題として今後検討していく。

◎令和元年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定の件 【賛成7、反対2で可決】

反対討論 国保においては、1億円程度の財政調整基金が貯まっていながら、保険料の引下げができない。大阪府の統一保険料に合致させるということもあって、保険料が今後上がっていく。現在でも、住民から国保料が高いとの声が聞かれる。については、大阪府に対して、保険料の激変緩和措置を延長するように要請していただきたい。

◎令和元年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

◎令和元年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

◎令和元年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

田尻歴史館耐震補強等保存修理工事現場視察報告

9月28日、現在行われている田尻歴史館耐震補強等保存修理工事の現場を視察しました。

田尻歴史館は、大正12年頃に建築された建物を田尻町が平成5年に購入し、以降一般公開してきました。

(平成8年には国指定の登録有形文化財に登録、平成17年には大阪府指定有形文化財に指定)

建築後約90年が経ち、雨漏りなどの老朽化と、大地震時の倒壊等から来館者の安全を確保する対策として、令和元年6月より洋館、和館、薬師門の耐震補強等保存修理工事を実施しています。

この工事は、令和4年7月に終了予定です。



全国町村議会議長会より 感謝状が贈呈されました

この度、全国町村議会議長会より、本町の大門 久恭 議長が大阪府町村議長会会長として尽力された功績により、感謝状を贈呈されました。



災害対策特別委員会報告

田尻町は、災害時に避難所で設営するテント型間仕切りを100基購入しました。

9月23日に開催した災害対策特別委員会において、危機管理課職員による災害用テントの組立講習会を行いました。

テントのサイズは、開いた状態で縦横サイズが2m×2m、高さ1.5mで、大人2人が中で寝ることができます。

テントは小さく折りたたまれていますが簡単に開き、ひとりで組み立てることもたたむことも可能で、避難所でのプライバシーが確保できます。

このテントは昨年の台風第19号により甚大な被害が発生した、友好都市の宮城県大崎市へ支援物資として届けて大変喜ばれたテントと同じものです。

実体験できて有意義な委員会となりました。危機管理課は段ボールベッドも発注しており、今後も委員会として組立講習会を行いたいと思います。

災害対策特別委員会委員長 吉開育子



令和2年 12月議会の日程（傍聴可能なもの）

3日(木) 本会議（開会日）

4日(金) 本会議（2日目）

※3日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

7日(月) 総務建設常任委員会

8日(火) 文教厚生常任委員会

9日(水) 委員会予備日

※7日(月)、8日(火)に審議が終了しなかった場合のみ開催

18日(金) 本会議（閉会日）



上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。傍聴にお越しの際は、マスクを着用いただき、席は隣との間隔を空けておかけください。